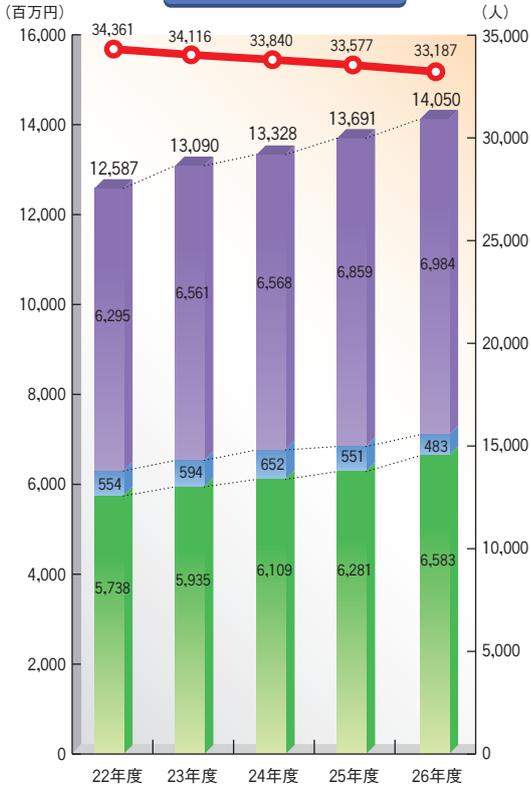


# 真岡市

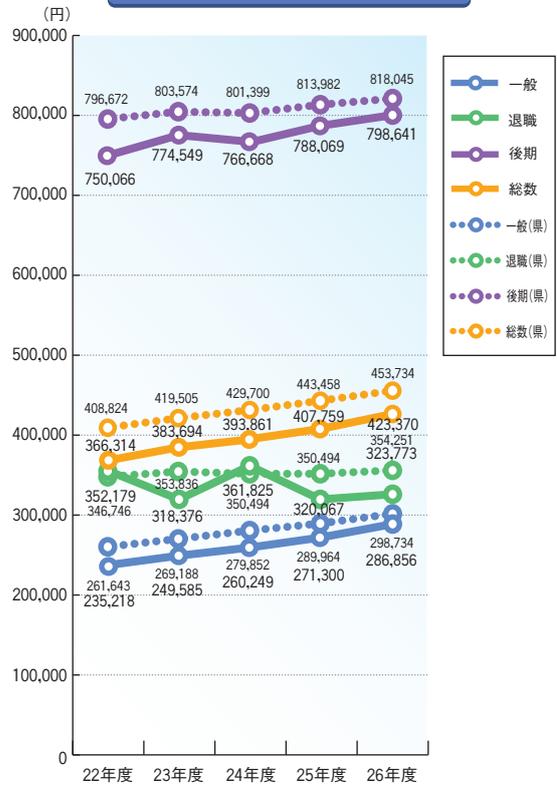
# 真岡市



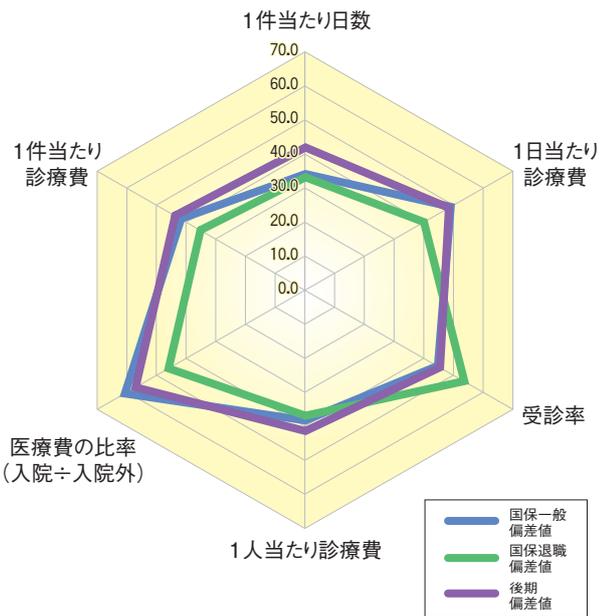
## 医療費の推移



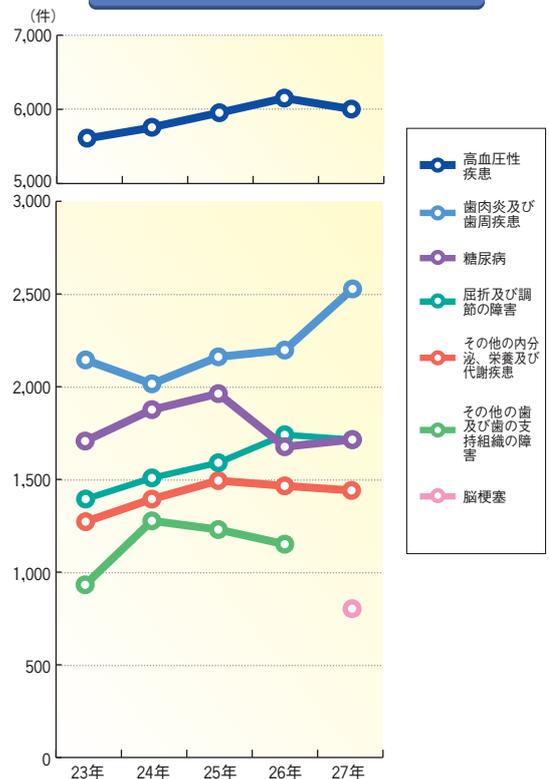
## 1人当たり医療費の推移



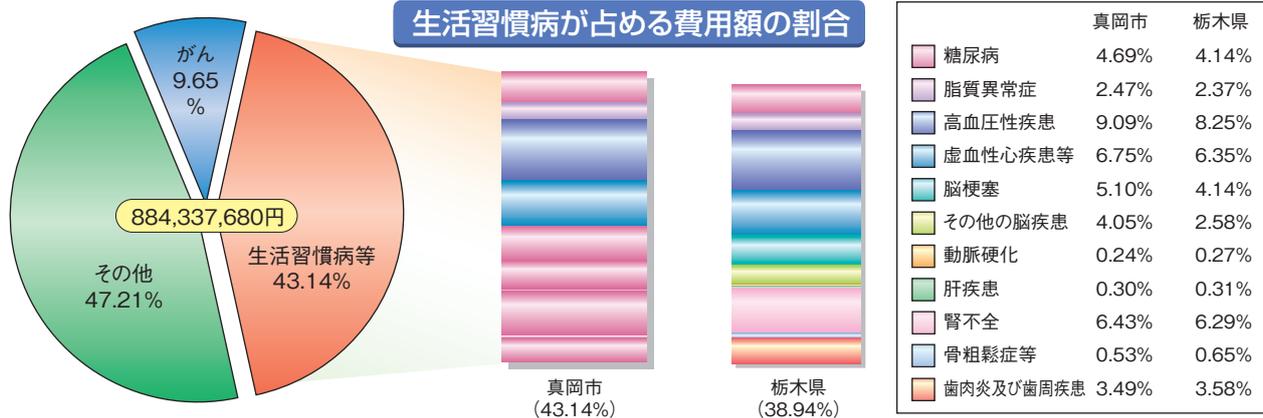
## 平成26年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)



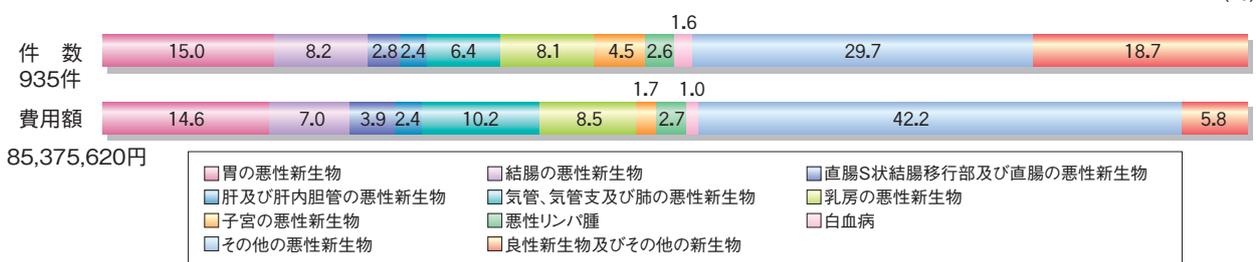
## 多受診疾病上位6位の推移



### 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



### がんの件数・費用額割合(部位別)



### 真岡市の状況

#### ★医療費の状況及び被保険者数

平成26年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般6,583,351千円(104.8%)、退職483,069千円(87.7%)、後期6,983,787千円(101.8%)で、全体では14,050,206千円(102.6%)と増加している。( )は前年度との比較。

平成26年度平均被保険者数は33,187人で、内訳は一般22,950人、退職1,492人、後期8,745人である。前年度と比較すると全体で98.8%と減少している。

また、平成26年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は423,370円(15,611円増)、一般は286,856円(15,556円増)、退職は323,773円(3,706円増)、後期は798,641円(10,572円増)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、国保一般、後期は医療費の比率以外の項目は県より低い偏差値となっており、退職は、受診率以外は県より低い偏差値となっている。

#### ★疾病の状況

平成27年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位屈折及び調節の障害、5位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、6位脳梗塞で、中でも6位脳梗塞は、平成23年と比べ費用額では1.29倍となっている。

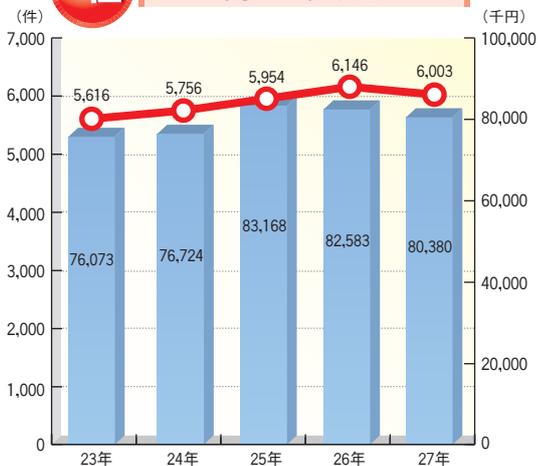
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ、虚血性心疾患以外の4疾病において高い構成比になっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成27年5月診療分の総費用額が884,337,680円で、がんが9.65%、生活習慣病関連が43.14%を占めている(県全体 がん11.90%、生活習慣病関連38.94%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患9.09%、虚血性心疾患等6.75%、腎不全6.43%、となっている。

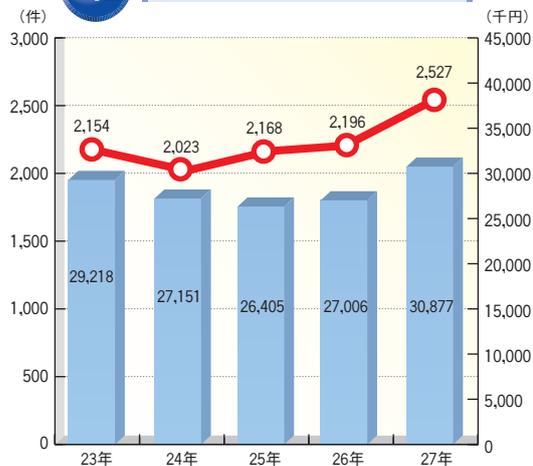
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、胃の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

# 多受診疾病 上位6の年次推移

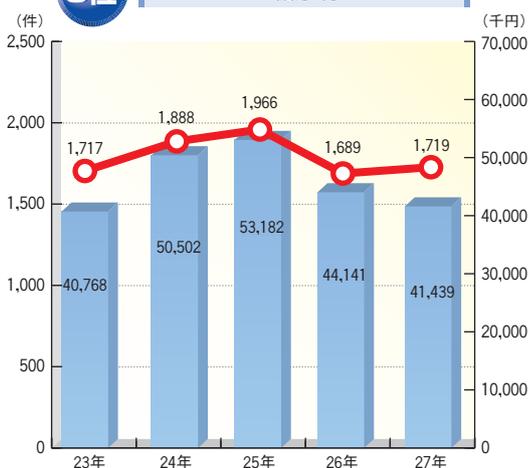
## 1位 高血圧性疾患



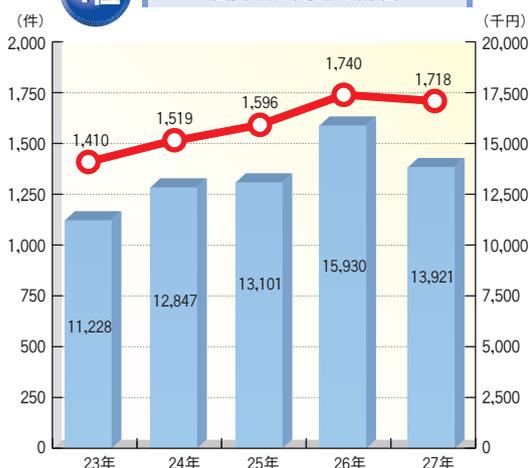
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



## 3位 糖尿病



## 4位 屈折及び調節の障害



## 5位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



## 6位 脳梗塞

